

出石城跡と有子山稲荷神社

かつての立地から2度の移転後、1604年になって出石城はようやく有子山の麓に永住の地を見つけました。明治時代（1868～1912年）の1968年、明治維新中に城の一部が倒壊しましたが、隅櫓（角に設けた櫓）は1968年に、登城門と登城橋は1994年に復元されました。最初に作られた石垣と、城の足下を囲う堀は今もそのまま残っています。出石城は山麓の丘に建てられており、城跡からは素晴らしい景色を見渡せます。たくさんの桜の木を眺めることもでき、桜の季節中、春に訪れると美しい景観を楽しめます。

城跡の隣には、長い石段があります。そこには約40の赤い鳥居が並んでいて、有子山稲荷神社へと続いています。歩いて行くと、老木と豊かな緑に囲まれた静かな境内へ到着します。400年の間同じ配置を保っている出石城下町の広大な古い町並みを眺めるのにも、この神社は最高の場所です。